



the most beautiful
villages
in japan

本町は「日本で
もっとも美しい
村」連合に加盟し
ています。



広 報

平成24年 (2012年)

きかい

2

No.536

またあそびにくるからね！



表紙説明

この3月で湾幼稚園も閉園する。
みんなの歌声がこだました園舎も、みんなで元
気よく走り回った園庭も、おともだちがいなくな
るから、さびしくなるね。

CONTENTS

『あそび祭り』を開催します！	P3
シマの話題その1 (製糖期はじまる 他)	P4
シマの入り江と潮だまり (志南編)	P5
シマの話題その2 (喜高野球部久保監督30周年 他)	P8
シマの話題その3 (社協ボランティア講座 他)	P12
戸籍の窓・喜界歌壇	P14
母校訪問 一第11回・第二中一	P16

社会福祉法人秀心会 職員募集のお知らせ

職 種:保育士

勤務地:喜界町(ひまわり第一、第二保育園)

お問合わせ期間:平成23年12月~平成24年2月29日

新卒、経験者、明るく元気な
保育士さん募集中です。

(パートも可)



H24年3月千葉県船橋市に特別養護老人ホーム開設



●●施設の概要●●

開設法人 社会福祉法人秀心会
理事長 徳田 秀子

施設名称 特別養護老人ホームつばい愛の郷
施設住所 千葉県船橋市坪井町146-1
事業内容 特別養護老人ホーム100床
構 造 RC造 地上3階建て
開設日 平成24年3月1日

お知り合いの方で、千葉県在住の方が
おられましたらご紹介ください。

看護師・准看護師・介護職員
ケアマネジャー
計50名募集中

お問い合わせ

〒891-6202

鹿児島県大島郡喜界町湾1794

社会福祉法人秀心会

理事・園長 久保 一也

TEL0997-65-0264 秀心会本部 (ひまわり第一保育園内)

fax0997-65-3145

●平成25年3月開設予定施設●

開設法人 社会福祉法人秀心会
施設名称 (仮称)高根台高齢者複合施設
施設住所 千葉県船橋市高根台二丁目3番12
事業内容 地域密着型特別養護老人ホーム
グループホーム・デイサービス
高齢者専用賃貸住宅 計108床
構 造 RC造 地下1階、地上5階建て

『あらかき祭り』を開催します!



主催

荒木サガマー子ども会

趣旨

荒木小学校での最後の思い出づくり

テーマ

「友達に優しく。地球に優しく。」

日時

平成24年3月4日(日)13時～16時

場所

荒木小学校

催し物

バザー、パネル展示、自慢の宝(品)コーナー
フリーマーケット(全売上を震災支援金とする)

会費等

入場料やバザー代金は、一切必要ありません。



【連絡先】

荒木簡易郵便局 光岡まで
電話 65 - 3264

その他

- ・東日本大震災支援金募金活動をいたしますので、御協力をお願いいたします。
- ・フリーマーケットの商品や自慢の宝(古い写真や絵画・民具等)がありましたらご連絡ください。
- ・当日は、高校生・中学生が運営いたします。

※子どもから大人まで、多くの皆様のお越しをお待ちしております。

県営コーラル喜界団地空家待ち順位登録について

「空家待ち順位登録」とは、県営住宅入居希望者の抽選により登録順位を決め、空家が発生したときに順番に入居していただく制度です。

平成24年度分の受付は、下記のとおりです。希望される方は、期間内にお申し込みください。

● 申込書の配布・受付

平成24年2月1日(水)から27日(月)までの午前9時から午後5時

※土・日・祝日の配布、受付はできません。

● 抽選日

平成24年3月7日(水)

● 申込書配布・受付 問い合わせ先：**大島支庁喜界事務所総務係 65-2091**

※1 現在、空き家待ちをされている方につきましても、今回申込みをされないと、これまでの登録は無効になりますので、御注意ください。

※2 空家待ち順位登録の受付は今回限りですが、入居申込みにつきましては随時受け付けております。ただし、入居順位は、上記申込みによる抽選で決まった方の後になります。

※3 今回の順位登録期間は、平成24年4月1日から平成25年3月31日までですので、その間に空家がでなければ順番は無効になります。1番の方であっても、空家が発生しなければ入居できませんので、御承知おきください。期間中に入居できなかった方で、引き続き入居を希望される方は、次年度に再度申込みしていただくこととなります。

ミマの話題

その1

無事故の運搬・操業を誓って製糖開始

—— 今期サトウキビ搬入量は7万トン割れか ——

生和糖業（田中康之工場長）で1月10日、前期より約1か月遅れて製糖が始まった。

昨年の干ばつや台風、メイチュウ（方の幼虫）による被害で今期の処理見込み量は6万7千トン。近年まれにみる不作となった。

同日あった原料輸送出発式で源久幸一J Aあまみ専務理事は「今期は悪条件が重なり記録的な不作となったが、面積自体は増えてきているので、今後とも関係機関と



生憎の雨により室内で安全祈願のテープカット



ダンプカーにより次々と搬入されるサトウキビ

生産者で増産に取り組めば来期以降は期待できる。政府はTPPへの交渉参加を表明しているが、島にサトウキビに替わる作物はない。強く反対を訴えよう」などとい

あいつつした。

また、喜界幹部派出所の有得敏昭所長からは、運搬中の安全運転の注意喚起があり、最後は運転手を代表して田中博之さんによる安全運転宣誓や関係機関代表者によるテープカットで、操業期間中の

無事故を祈念した。

奄美遊技場組合が「ていだの会」へ義援金を贈る

群島内のパチンコ店などでつくる奄美遊技場組合（奄美市、西竹孝一代表）が12月27日、役場を訪れ、障がいを持つ子どもたちの支援活動に取り組んでいる「ていだの会」（宜名真孝子代表）へ義援金を寄贈した。

贈呈式には同組合から2人とていだの会からは3人が参加。同会を代表して岩田繁さんが義援金を受け取った。同組合からの義援金は、今回で2回目となる。

宜名真代表は「大変ありがたい。会員と相談して、みんなが喜ぶことに使いたい」と話した。



贈呈式の後後に記念撮影

福祉や医療についての学習会や芸術鑑賞会、農作業など、子どもの成長発達への取り組みや会員間の相互連携などを図っている。

更生保護で「被害者支援」も学ぶ 南北大島保護司会合同研修会

北大島保護区保護司会（平敬司会長）と南大島保護区保護司会（吉村道子会長）はこのほど、町名のホテルに集まり、「更生保護における被害者支援」をテーマに合同研修会をした。

研修会には、町内はじめ群島内の保護司の他、鹿児島保護観察所の小関康幸所長ら、約60人が参加した。

吉村会長のあいさつや直島秀守副町長の来賓あいさつの後、小関所長は、保護観察対象者を積極的に雇用して職のある生活を援助し、その更正に寄与することを目的に昨年9月に設立された「県協力雇用主会」の意義について説明。その充実と拡大を呼びかけた。

また、鹿児島保護観察事務所奄美駐在官事務所の溝川公平保護観察官は「更生保護における被害者支援について」と題して講演した。

溝川さんは、加害者と比べ人権やプライバシーが侵害されがちな被害者の保護を目的に改正された



講演する溝川保護観察官

更生保護法について、①被害者の意見などを聞き取りする制度・②被害者の心情を加害者に伝達する制度・③被害者へ加害者の保護観察状況を知らせる制度・④被害者からの相談に応じ、その支援をする制度、などを中心に説明し、「保護司の皆さんは、加害者の更生保護のために尽力されていますが、それ以外にも、被害者や被害者家族の痛みや思いも意識しておく必要があります。これからも、犯罪や再犯を防止し、加害者や被害者が生まれにくいよりよい社会の構築のためにご尽力ください」と話した。

研修会後は同会場で情報交換会もあり、各地区の状況などを報告しあった。

シマの入り江と潮だまり

志戸桶南部編



志戸桶集落(南部・東部)のシマロて(成り立ち)など

志戸桶集落は戦後、南部と東部に行政区が分離したが、同集落の先人ははじめ、東部よりさらに北側のアタイジ(辺り地)にシマ立てし、そばにあるウイイガア(上川)の水を利用した。ウイイガアには平家の守護神である厳島神社(弁財天)がある。

厳島神社でわかるように平家伝説が色濃く残る地であり、東部にある沖名泊は壇ノ浦の戦いで敗走した平家の残党が上陸したという伝説があり、南部には源氏の追討に備えて築いた七城(ななじょう)の跡が残る。

沖名泊は荒木泊とともに早くから琉球交易の玄関として栄え、同集落には由緒ある旧家が多い。また、東部の平田姓は平家の末裔といわれる。さらに、一族の多くが琉球や薩摩の役人などを勤めた同集落の濱川姓は、源氏の末流といわれる。これらのことから、集落民は「シイヨウウィッチュ」と呼ばれる上品でおっとりした気質が多いという。

※竹内譲著「喜界島の民俗」から抜粋

言い伝えなどについて

① シラホウムイ
海底の白砂で陸からは白く見えるため、この名が付いた。

② フシキヤーワラ
フシキヤー(大型のムツトウビー(トビハゼ))が多くいたことから。警戒心が強いため、イザリ(夜に潮だまりなどに寝ている魚介類を獲る漁)では灯りを使わず、月明かりを頼りに獲った。素揚げにして美味という。

③ ナガワリ
④ ハサシ
大潮時には上のホウムイ(潮だまり)とつながる。

⑤ ウツカマター
⑥ サガイグムイ
⑦ サバホウムイ
今もクンジュ(オキナメジナ)やババユ(イスズミ)が釣れるポイント。

⑧ カヤホウムイ
ペエ(南)とニシ(北)に分かれている。ペエには赤貝と思われる二枚貝(カヤ)が多くいたため、この名が付いた。

⑨ ウフラホウムイ
ウフラ(大良)という人が漁業権を持って付いたため、この名が付いた。

⑩ シラホウムイ
⑪ クナッス
①に同じ。

⑫ ウフナッス
⑬ アーシムエー
現在は突堤がある。波が激しくぶつかり、波の音は遠く島中集落まで聞こえたという言い伝えがある。「嵐の前ぶれ」の意味。

⑭ ナビイホウムイ
⑮ スーバマ(塩田の跡)
ここで良質な塩が造られ、他集落との物々交換(タンム(薪)や米など)にも使われたという。明治の末頃、喜界島には天然痘が流行しており、志戸桶の患者はここに隔離されていたという。明治44年、島をマグニチュード8.0の大地震が襲ったが、この周辺は高台にあるため、海のおくそばにもかわらず、津波による死者・行方不明者は、一人もなかったといわれる。

⑯ ハミンヤー
ハミ(ウミガメ)が産卵のために上陸していたため、この名が付いた。

⑰ ハタドゥマイ
⑱ ハタムイチー
⑲ ナガキー
⑳ ガワロンヤー
ガワロー(カッパ)の住処があったといわれ、昔は子どもたちは怖がって近寄らなかったという。

㉑ インキヤンイキー
(我原米吉さんから聞き取り)

教育委員会のお知らせ

男子3位、女子3位 第52回大島地区駅伝

平成23年12月4日、龍郷町にて日本復帰記念大島地区駅伝競走大会が開催されました。

区間は、男子5区間、女子5区間で、奄美信用組合龍郷支店をスタートし、途中折り返し、再び奄美信用組合龍郷支店へゴールするコースで、大島地区各市町村から男子13チーム、女子8チームの参加がありました。

本町男子チーム

《監督・古沼寛之、選手・龍田優斗（第一中3年）、渡秀人（喜高3年）、來龍平（鶴翔高2年）、



正木勇太（喜高3年）、向井良人（喜高教諭）、山根敦介（喜界島通信所）、齋藤功一（喜界島通信所）、前島将太（郵便喜界集配）

本町女子チーム

《監督・朝日浩之、選手・築彩香（第一中3年）、平菜々美（喜高2年）、岡本夢実（喜高2年）、美代奈津実（Aコープ喜界）、嶺弥里（第一中1年）、辻美和子（喜高2年）

師走の龍郷路を走破いたしました。男子チームはレース中盤と首位の奄美市チームに20秒差と僅差に迫る勢いを見せ大健闘いたしました。

競技結果は、以下のとおりです。男子・女子ともに3位。区間賞



（女子4区）美代奈津実。監督賞（男子）古沼寛之、（女子）朝日浩之。最多出場選手前島将太

喜界町学校保健研究大会

一月二十七日（金）に、喜界町学校保健研究大会が喜界町役場コミュニティホールで行われました。各小・中学校の保護者、教職員など約百名の参加がありました。今回の学校保健研究大会は、講師にメンタルケア研究会・コラソン代表の臨床心理士である千石久美子先生をお招きし、「思春期の子育てについて」という演題で講演をしていただきました。思春期の子どもが抱えるつまずきの共通点、思春期の子どもが問題を抱えた時の親の関わり方など、千石先生の体験を交えた話に、どの保護者も熱心に聞き入っていました。特に子どものあるのままを受け入れるためにリフレーミングという手法を用いることの有用性を話され、最後の保護者からの質疑応答でも適切な回答をいただくことができました。今回の講演は、どの保護者もすぐに家庭にもち帰って実践できると感謝の声を聞くことができました。



本町で奄美群島文化財保護対策連絡協議会が開催し奄美文化遺産の取り組みを決定

文化財の保護やその活用について話し合う、奄美群島文化財保護対策連絡協議会（中山清美会長）が1月19日と20日の両日、役場コミュニティホールで開催された。

会議には、奄美12市町村の文化財行政担当者等17名が出席し、文化財保護の取り組みや課題をテーマに協議し、喜界町は、文化活動の現状紹介や上原慶三郎文化財審議会会長と松永幸二上小校長が「文化財伝承の意義」等について発表した。

翌日は、奄美文化遺産登録について協議。天城町が身近な文



会議の様子

化財を集落ごとにマップ化しているケースを参考に、奄美全体でそれぞれが集落遺産を登録していくことを決定した。

会議の後、民俗資料室に展示されている指定文化財を見学し、手久津久の崩り遺跡発掘現場や南家所有の巨大ガジュマル、そして池治集落の横穴式共同墓地などを視察して2日間にわたった研修会は終了した。

今研修会は奄美の学芸員や文化財を担当している専門家が大量の来島で、地元文化財保護審議員にとっても刺激的であったようで、上原会長は「多岐にわたる情報の交換ができ、非常に有益な会」と述べた。

すこやか ニユース

お口の健康、大丈夫？

年齢を重ねると、入れ歯になったり・むせやすくなったり・固い物を食べにくくなったり…。
「健康に心配はないし、足腰も丈夫だから介護なんて関係ないわ」と思っている方こそ、お口の健康を考えてみませんか？

●お口と体の関係

お口の中のばい菌が、糖尿病や脳卒中・心臓病ともかわりがあることを知っていますか？歯と歯茎の健康は全身の健康に関係しているのです。

●お口と足腰の関係

人は力を入れる時、歯を食いしばります。上手に食いしばれないと力を入れることができず、また全身の骨のバランスをゆがめてしまうのです。ゆがみが膝・腰痛などの原因になっているかもしれない。

●お口と食事の関係

食事は健康の基本であり、毎日の楽しみでもあります。何でも美味しく食べる為には嚙む力・飲み込む力が必要です。

すこやかセンターでは、春より65歳以上の方を対象にお口の「健口教室」を実施予定です。

今年度健康診断等で実施したアンケートを元に、対象となる方には後日ご案内を送らせていただきます。案内がない方でも興味のある方はすこやかセンター（☎65-13522）までお問い合わせください。皆様のご参加をお待ちしております。



平成23年度に8020運動で表彰された皆さん

- 吉山悦子さん（小野津）
- 濱田 菅さん（志戸桶）
- 福原松野さん（荒木）

皆さん80歳を越えても、ご自分の歯を20本以上保っていらっしやいます。皆さんとてもお元気な笑顔のすてきな方ばかりで、お口の健康の大切さを改めて感じました。おめでとございます。後に続くことができるようにがんばりましょう！

妊婦健診を 受けましょう

受けましょう

妊娠中は、ふだんよりいっそう健康に気をつけなければなりません。最近では「飛び込み出産」（妊婦健診を受けずに陣痛が始まってから病院に飛び込み出産すること）などの言葉もよく耳にします。妊娠は病気ではありませんが、無事に産を迎えるためには、いろいろなことに気を配る必要があります。もともと健康な方であっても、妊娠中に重い病気にかかることがあります。症状が進んでからは治療が難しくなりますので、定期的に健診を受けて早期に対処することが大切です。

平成21年度からは、妊婦健診の費用助成が14回となり、ほぼ毎回助成を受けることができるようになりました。母子手帳と一緒に「妊婦健診受診票」を発行します。妊婦さんと赤ちゃんの健康を守るために妊娠11週（妊娠3か月）までは、母子手帳の発行を受けましょう。母子手帳は「家族のもの」がたりをつくる「ツール」として活用できます。ご家族でいろいろな思いを綴ってみませんか？…

咳エチケットを 守りましょう！

★せき・くしゃみのある方はマスクをしましょう

★せき・くしゃみのときには口と鼻をおおひきましょう。

せきで1.5m、くしゃみで

3mもウィルスを含むしぶきが飛び散ります。症状がある方はしっかりとエチケットを守りましょう！！

感染予防の基本は手洗い・うがいです。外出後、食事前等は必ず手洗い、うがいをしましょう。

予防接種はお済みですか??

特にMR（麻しん・風しん）のⅡ期（年長さん）、Ⅲ期（中1）、Ⅳ期（高3）の対象の皆さん、期限が今年の3月31日までになっています。期限を過ぎると自費での接種になります。（1万円前後かかる場合もあります。）

早めに接種を受けましょう！！

2月17日(金)	午後7時～
2月18日(土)	午前9時30分～
3月16日(金)	午後7時～
3月17日(土)	午前9時30分～

会場：役場コミュニティーセンター多目的室
※水分は各自でご準備ください。

今話題のストレッチ
インストラクターの指導のもとみんなで楽しく取り組んでみませんか？

毎月1回「いきいき体操教室」を実施しています。「いきいき体操教室」では、奄美市のフィットネスクラブのインストラクターの先生を招いて、ストレッチや筋力トレーニングを行っています。ひとりひとりの体の不調（肩こり、膝痛、腰痛など）に合わせた体操などについても相談に応じてくださいます。2月、3月の日程は左記の通りです。ぜひ、お気軽にご参加ください。

シマの話題

その2

全国から教え子が集い就任30周年を祝う —久保喜高野球部監督就任三十周年記念祝賀会—



美沢選手（埼玉西部）と握手を交わす久保監督（右）

喜界高校野球部監督に昭和57年に就任し、今年で30周年の節目を迎える久保正樹さんの記念祝賀会が1月2日、自然休養村管理センターで開催された。祝賀会は埼玉西武ライオンズの美沢将選手をはじめ、全国各地の「門下生」やゆかりのある一般参加者ら約230人が集い、久保監督のこれまでの功績を称え、ますますの活躍を祈

念した。

実行委員長の武田鉄也さんは「恵まれない環境の中、2度の県大会ベスト8や2人のプロ野球選手を育てた手腕を持つ久保監督は、野球以外にも多くを子どもたちに教えてくれた。部員とわが子のように接してくれる奥さんの内助の功も大きい。今後いつその活躍を期待します」とあ

いさつ。教え子を代表して壇上に立った美沢選手は「技術だけでなく、礼儀や生活面でも指導してくれた監督のおかげで今がある。自分たちが果たせなかった夢である甲子園出場を、ぜひ実現して欲しい」と述べた。途中、余興で教え子ら



最後に現役の教え子も含めて記念撮影

のアピールをしてきたが、OBが一同に集まったことがうれしく、監督冥利に尽きる。66歳ここからが勝負、明日からも若いユニフォームを着た子どもたちと頑張りた

が漫才や踊りなどで祝賀会を盛り上げ、元広島東洋カープ投手で現在は同球団職員の高橋英樹さんをはじめとする教え子や、かつてのライバルである榎山智博樟南高校野球部元監督からの祝電も披露された。また、教え子が各年代ごとに壇上に上がり、当時のエピソード（カミナリを落とされた思い出）を楽しく紹介した。久保監督は最後に「一口に30年といっても、本にすれば3冊分の色んなことがあり、一人ではできなかった。野球を通して、島の宝である子どもたちの人間教育と島

い。みなさん一緒に島を盛り上げましょう」とあいさつした。

「2012年越しin佐手久」 佐手久青年団が年越しイベント

佐手久青年団（西行弘会長）は12月31日から1月1日にかけて、「2012年越しin佐手久」を開催した。

同イベントは、「喜界島では初めての除夜の鐘（鐘は戦時中のお焚き上げの篝火（かがりび）、そして島内で唯一、初日の出が見える神社）などとアピールし、ポスターと新聞チラシで宣伝し、準備された。

年越し蕎麦などの屋台も出店され、保食神社のお札、お守り、おみくじも販売された。夜11時ごろから島内の他集落からも参拝客が集まり出し、神社への参拝、除夜の鐘撞き、広場での縁日などを楽しんだ。



初日の出参拝客



屋台も出店してにぎわった

年が明けると谷本泰男宮司が、保食神社内で「大祓の儀」、「歳旦祭」を執り行った。その間も、参道の両側に張られた提灯の下を、神社へ向かう初詣客の列は途切れることなく続いた。

朝は7時ごろから、雲の合間に顔を覗かせた初日の出を参加者一同で拝み、今年一年の幸を祈念した。

関係者は「初めてにしては大成功、また来年も実施しよう」と話している。

（報告 北島公一さん）



初日の出がきれいに見えた

奄美群島振興開発基金からのお知らせ

■奄美基金は、奄美群島の産業振興を図るため、融資業務・保証業務により事業者の方々への事業資金の円滑な供給に努めています。

★★奄美基金の主な融資制度のご案内★★

資 金 名	資金用途	貸付の限度額	貸付期間	貸付利率
農・林業振興資金 (サトウキビ、畜産、果樹園芸、野菜、花き等) (樹苗、稚茸、木材生産加工)	設備資金	個人 1,000 万円 法人 1,500 万円	5 ～ 15 年	1.40 ～ 1.55 %
水産業振興資金 (漁船取得・改造、装備購入、養殖施設整備、 共同利用施設等)	設備資金	個人 2,000 万円 法人 4,000 万円	5 ～ 10 年	1.40 ～ 1.55 %
観光関連産業振興資金 (民宿、ホテル、遊漁船、ダイビング、観光ガ イド、土産品製造等)	設備資金	個人・法人	設備 15 年	設備 1.75 ～ 3.55%
	運転資金	7,000 万円	運転 7 年	運転 2.15 ～ 3.25%
流通・加工業等振興資金 (一次産業従事者の運転資金) (農林水産物等の流通加工業等)	設備資金	個人・法人	設備 10 年	設備 1.75 ～ 3.55 %
	運転資金	4,800 万円	運転 7 年	運転 2.15 ～ 3.25 %
地域資源等振興資金 (大島紬、黒糖焼酎等の特産品並びに地域の資 源・技術等を活用した商品の製造・販売業)	設備資金	個人・法人	設備 15 年	設備 1.75 ～ 3.55 %
	運転資金	7,000 万円	運転 7 年	運転 2.15 ～ 3.25 %
地域活性化・雇用促進資金 (情報通信産業、企業立地、雇用の促進等地域 活性化に資する事業)	設備資金	個人・法人	設備 15 年	設備 1.75 ～ 3.55 %
	運転資金	7,000 万円	運転 7 年	運転 2.15 ～ 3.25 %

※貸付金利は、平成23年12月9日現在のものです。

※貸付期間及び貸付利率は資金用途などにより異なります。また融資にあたっては所定の審査が必要となります。(詳細については奄美基金までお問い合わせ下さい)

■保証業務は、事業者の方々が金融機関から借入を行う際に、奄美基金が信用保証を行うことで円滑な資金供給を支援する制度です。(詳細については奄美基金、各金融機関、各商工会等へお問い合わせ下さい。)

■お問い合わせ先

独立行政法人奄美群島振興開発基金 本部 (担当 業務課)

〒894-0026 奄美市名瀬港町1-5

電話番号 0997-52-4511 FAX 0997-52-4514

HPアドレス <http://www.amami.go.jp> Eメール kikin@amami.go.jp

(Eメールからもご相談を受け付けていますので、ご利用下さい。)

喜界島の方言を残そう…⑩

金田 章宏（千葉大学）

喜界島の調査では多くのかたがたにお世話になり、たくさんの収穫がありました。とくに私のばあいは、これまで八丈島と西表島の方言を勉強してきましたが、どちらも母音は5母音で子音もとくに難しくはなかったのが、今回はじめて、喜界島でそれらとは異なる音声にふれることができ、たいへん刺激的でした。

さて今回は、喜界島と人口も島の大きさもよく似ていて、おなじく危機言語となっている八丈島について、少しだけご紹介します。

八丈方言は奈良時代の関東周辺に住む人たちの方言的な言葉を今に伝える、とても古風な方言として知られます。若い娘をメナラベというなど、琉球方言との類似性も少なくありません。

しかしこの島でも、若者たちはほとんど方言が理解できなくなっています。それがユネスコの報告をきっかけに、話そう、残そう、という雰囲気少しずつ広がってきたのです。最近では、保存継承活

動に熱心な与論島の菊さんを八丈に招いて講演もしていただきました。

類似する方言をほかには持たない八丈方言と違い、喜界島方言は奄美方言の一つですが、やはり独自の特徴を多く持っています。生まれ島の言葉としてこれからも生きて使われていってほしいものです。

一面の黄金色のゴマ畑と、これも黄金色に光り輝くオオゴマダラのサナギ、それにみなさんの歌声と笑顔が今でも心に焼きついています。



八丈富士遠景（写真提供：八丈町役場）

八丈島にも「雁股の泉」で知られる源為朝の伝説が残る

鹿児島県司法書士会からの「司法書士無料法律相談会」開催のお知らせ

鹿児島県司法書士会では、県民の司法へのアクセス窓口として「司法書士法律相談センター」を設置し、次の要領で司法書士による「無料法律相談会」を開催します。事前予約は不要ですので、当日相談会場へ直接お越し下さい。

名 称	司法書士無料法律相談会
相談受付内容	相続・離婚・貸金・借金整理・賃貸借・その他法律問題に関する相談並びに裁判の支援
日 時	平成24年2月25日（土曜日）午後1時～午後5時 平成24年2月26日（日曜日）午前9時～午前12時
相 談 会 場	役場コミュニティーセンター トレーニング室
実 施 方 法	司法書士による面談相談（相談は無料）

問い合わせ先：鹿児島県司法書士会（099-256-0335）

確定申告はお早めに！

平成23年分の所得税及び町県民税の申告の受付は、平成24年3月15日までです。また、2月23日（午後）と24日（午前中）には役場研修室にて大島税務署の申告相談が予定されていますのでご利用下さい。

なお、国税庁ホームページの「確定申告コーナー」で簡単に申告書等の作成ができますので、是非ご利用ください（<http://www.nta.go.jp>）。

詳しいことは、最寄りの税務署にお尋ねください

（大島税務署 52-4321 ※自動音声案内）。

お問い合わせ先 役場税務課 65-1111（内線43）



司法書士による 法律相談会(無料)のご案内

「喜界町商工会」主催により、喜界町において、司法書士による「法律相談会」(無料)を下記のとおり開催いたします。

事前に予約なされると、優先的にご相談頂けます。

たとえば…

相続や遺言について
不動産の名義変更について

老後の資産管理
成年後見制度ってなに？

訪問販売で高額商品を買ってしまった。
キャンセルするには
どうすればいいの？

会社を作りたい
役員を変更したい
どうしたらいいの？

サラ金からの請求に
困っている。
払いきれないときは
どうすればいいの？

などなど、お悩みのある方は、お気軽にご相談ください。

記

【相談日時】 2月18日(土) 9時00分～16時00分

【相談場所】 中央公民館

※本相談会での直接受託は原則行いません。

正式な依頼に至った段階で、費用が発生致します。

●予約・問合せ先● 喜界町商工会 電話：0997 - 65 - 0169

主 催 喜界町商工会

ミマの話題

その3

赤十字奉仕団研修会で災害時の対応を学ぶ

～平成23年度第3回社協ボランティア講座～



安全かつ簡単な非常食を実際につくった

町社会福祉協議会（開悦夫会長）は、阪神淡路大震災発生からちょうど17年目の1月17日、日本赤十字社奉仕団に加盟する町地域婦人会連合会（宜名真孝子会長）の会員らを集めて、今年度3回目となる赤十字奉仕団研修会（社協ボランティア講座）を町老人福祉センターで開催した。同研修会には、日本赤十字社（日赤）鹿兒島県支部から前田佳春事業推進課長と永田五男救急法指導員も参加した。開会長は冒頭、「災害時に果たす女性の役割は大きい。もし、島



ぜひ覚えてほしい三角巾の活用法

が災害に見舞われた時に適切な行動がとれるよう、ともに学びましょう」とあいさつした。前田課長は日赤奉仕団の活動内容について、東日本大震災での日赤の取り組みを記録したビデオを交えながら「広範囲の大災害が起こった際は、警察や行政はすぐに救助・救援はできない。みなさんが共助・自助の精神で災害弱者・生活弱者を助けなければならぬ。事実、阪神淡路大震災の時は、倒壊した建物に下敷きになった人や逃げ遅れた人の9割は、地域住



災害移動炊飯器は社協で貸し出している

民に救助された。普段からの住民連携や地域イベントなどで、より大きくコミュニティを広げ、災害弱者を確認しておく必要がある」などと話した。また、津波について「海の表面を動く普通の波と違い、津波は数千mもの深い海底までの海水すべてが動き、波の長さも数kmに及び、断続的に波が押し寄せ、凄まじい破壊力がある」と、そのメカニズムも説明した。

永田指導員は、東日本大震災のボランティアに参加した時の状況を説明し、三角巾を使つての関節の固定法や頭部の保護法などを指導した。

災害時には衛生面も悪化することを受け、昭和34年に紀伊半島から東海地方を中心に襲つて大きな被害を与えた伊勢湾台風の際に、炊き出しで出されたオニギリで多数の被災者が食中毒を発症した反省から生まれた衛生的な非常食

も、実際に作つた。日赤が販売するビニール袋に塩と水、米を入れて火を通すだけの手軽にできるもので、試食した参加者にも「意外とおいしい」と好評だった。講座の修了後は、参加者に修了証が交付された。

参加者らは「テレビの報道だけでは分からない被災地の現状を知ることができた」、「三角巾の使用法は緊急時だけでなく日常でも使える」、「日ごろからの備えや心構えの重要さが理解できた」などと感想を述べた（アンケートより）。

輝かしい新春を飾る恒例の「喜界町出初め式」開催

町出初め式が1月6日、町消防団員や大島地区消防組合喜界分署員、阿伝小学校少年消防クラブ（昭和61年結成）が参加し、町総合グラウンドであった。

式は、団員と阿伝小消防クラブ員による規律正しい入場行進で幕を開け、整列後は東日本大震災で殉職した消防団員、消防職員への黙祷を捧げた。

加藤啓雄町長による特別点検や式辞、日本消防協会など関係団体からの表彰の他、県知事（代読）、町議会議長、自衛隊喜界島通信所長、奄美警察署長（代読）による祝辞もあった。

団員らは、日ごろの訓練の成果

として、出初め式の華である消防操法と放水訓練を披露した。



放水訓練の様子



加藤町長による特別点検

喜界島の方言を残そう…⑪

窪蘭 晴夫（国立国語研究所）

2010年9月の喜界島方言調査では喜界島各地の皆さんに大変お世話になりました。行った先々で歓迎を受け、また長時間の調査にも辛抱強く協力していただきました。改めましてお礼申し上げます。

私は鹿児島県（薩摩）川内市の出身ですが、屋久島より南の島に行くのは今回が初めてでした。今回の方言調査で一番驚いたのは、喜界島中の地域差です。私の故郷は鹿児島市と60kmも離れており、その間に山や川がたくさんありますが、アクセントの違いはほとんどなく、話を聞いてどちらの出身かを特定することは困難です。一方、私が以前より調査を行っている甞島（川内から西に約40kmのところにある人口6千人の島）は集落と集落が山や海で隔たれていることもあり、集落ごとにことばも違います。

ところが喜界島は集落間に川や山があるわけでもないのに、わずか4kmほど離れているだけでアクセントが少なからず違ってきます。特

に島の北部（小野津、志戸桶）とそれ以外の地域の違いは大きく、また中南部でも坂嶺と湾・中里では違い、湾・中道と上嘉鉄・阿伝・塩道でも顕著な違いが見られます。

私たちは「喜界島方言」と一括りにしてしまいがちですが、喜界島の中にも方言差が大きいことを今回の調査を通して実感しました。方言はことばの豊かさを表しています。これからもこの豊かさが未永く残ることを願っています。



方言調査の様子（坂嶺）

ゴミ収集日変更及びマナーについて

ペットボトル月2回収集

平成24年4月より**ペットボトル**の収集日が月1回から月2回に、**缶類**の収集が月3回から月1～2回に変更になります。詳しくは、3月末に配布する「ゴミ収集カレンダー」をご覧ください。



ゴミ出しのマナーを守りましょう

1. ゴミステーションへ出す場合

- (1) ゴミは、正しく分別し、**喜界町指定ゴミ袋**に集落・氏名（フルネーム）を記入して出しましょう。
- (2) ゴミは、決められた日の**朝8時**までに出しましょう。
（前日からの持ち出しは絶対にしないでください!）
- (3) ゴミステーションは**利用する人たちできちんと管理**し、お互いの協力のもとに清潔にしましょう。

2. クリーンセンターに直接持ち込みの場合

クリーンセンターへのゴミの持ち込みは、ゴミの種類ごとに正しく分別し、中身の見える**透明袋**でお出しく下さい。基本的に**喜界町指定ゴミ袋**で持ち込まないようお願いします。

3. ゴミの不法投棄について

廃棄物（ゴミ）をみだりに捨てると「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」違反より5年以下の懲役若しくは1,000万円以下の罰金、場合によってはその両方が課せられます。



問合せ先：役場住民課 65-1111（内線：33）

喜界歌壇

〈三二二シ合〉

雪のなか沈みゆく陽は朱く冴え
吉備路の里に吾吸われゆく

嶺倉 祝子

陽は入りてさらに冷たき如月の
風に研がれし半月懸かる

林 蓮香

取り出し孫の写真をまた眺む
ともに住まねど心は通う

有村 道子

釣り舟が小さき灯掲げ帰りくる
時雨流れて冬暮れゆかん

平尾 チヨ

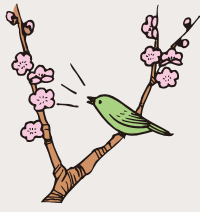
扉を越す桜を切れれば冬驚
我に近づきはげしく鳴きぬ

弥島 幸子

〈萌葉会〉

夜半しぐれ霽したる大根葉
指先凍むる冬冷えの朝

豊島 瞳



初春に凜として咲く水仙の
ほのかな香り朝もやの中

豊島 文子

初詣家人揃い参拝す
辰新玉に願ひ数知らず

前田喜代美

待ち人を迎えて嬉し冬の午後
語り尽くせぬ留守の出来事

平島 初子

初春に我が母は逝きうつくしく
花の散り際桜のごとし

井澤紀美子

耳遠く互いに独居老人なり
金釘流のハガキも楽し

美代 イシ

人々の心に寄り添う我が業の
想いを胸に旅立ちの時

徳 成寿

喜界町の推計人口

(平成 24 年 1 月 1 日現在)

世帯数・・・3,610 戸 (△ 3)
人口・・・8,013 人 (△ 3)
男・・・3,865 人 (△ 3)
女・・・4,148 人 (0)
() は前月比

戸籍の窓

こんにちは

赤ちゃん



氏名 保護者 住所

松本正颯宗・正仁・湾

辻崎 瑛理・智徳・赤連

乾 晴一・義朗・赤連

及川 翔太・建司・赤連

實田 湊太・照美・湾

いつまでも
お幸せに

氏名 住所

栢山 儀則・上嘉鉄

康永 恵里・大阪市

濱上 栄治・手久津久

西川 彩乃・赤連

芳川 顕・中里

坂島 佐和子・佐手久

福島 悟・中里

新原 恭子・東京都

ごめい福を
お祈りします



住所 氏名 年齢

川嶺・榮山 知秀・49 才

伊砂・松平キクエ・91 才

志戸桶・梅林カヲエ・84 才

川嶺・吉野 園江・79 才

上嘉鉄・西岡 フミ・73 才

中熊・榮山 エイ・83 才

浦原・中 幸三・73 才

手久津久・村田 ミヨ・86 才

志戸桶・竹下 スエ・78 才

志戸桶・山城 貞・86 才

坂嶺・三原 貞・94 才

上嘉鉄・原田 松枝・88 才

嘉鈍・水島 長史・62 才

荒木・麓 ヨシ・88 才

羽里・上田 禎一・85 才

上嘉鉄・前岡常太郎・95 才

志戸桶・久山 モト・92 才

手久津久・文園 ヒデ・92 才

島中・西島 哲磨・78 才

社協だより

■香典返し(敬称略)

川嶺 喜島 豊二

赤連 佐藤 市夫

東京都 岩崎 和典
(上嘉鉄出身)

上嘉鉄 巖 静子

川嶺 栄山 十郎

東京都 吉野 建
(川嶺出身)

志戸桶 梅林 昭和

中熊 榮山 初男

上嘉鉄 原田 澄一

坂嶺 三原 和裕

志戸桶 山城 茂広

嘉鈍 水島千代子

志戸桶 竹下 博道

今月の
ウヤフジ訓 ⑱

マガタヌ

(曲がった)

ケージャーヤ

(鉤は)

スサー

(元どおり伸ばない)

解説

失った信用や害した感情は、なかなか元には戻らない。「言動は慎み深くせよ」との教え。
ヤマトのことわざでは「落花枝に還らず、破鏡再び照らさず」や「覆水盆に返らず」。

鉤(カギ)とは先が曲がった棒状の鉄器具で、主に漁具や農機具。編み針や釣り針も鉤の一種である。

どの収集活動で寄付金と車椅子を寄付)

■ふるさと寄付者(敬称略)

土居 松美 愛媛県

壽 光雄 神奈川県

長田 進 大阪府

徳田 哲 東京都

金井 清治 京都府
山元 齊 鹿屋市



スイセン(水仙)

地中海西部沿岸が原産地のヒガンバナ科スイセン属の球根植物。「仙人は、天にあるを天仙、地にあるを地仙、水にあるを水仙」という中国の故事にちなんで名付けられた。雪を割って花開き、春の訪れを告げることから「雪中華」の和名もある。スイセンといえば普通、スイセン属を総称していうが、写真のスイセンは代表的な「日本寒水仙」である。イギリスやオランダ、日本など世界中で品種改良が進んでおり、西洋スイセンは花の形状だけでも「八重咲き」や「ラッパ咲き」など7種類ある。

日本水仙の花言葉は「自己愛」。

阪神淡路大震災の被災地をお見舞いになった美智子皇后陛下は、皇居に咲いた日

本水仙を現地にて手向けられた。そのスイセンは神戸市内のハーブ園で永久保存されている。また、東日本大震災で自宅を津波で流されたある被災者は、避難所をお見舞いになった皇后さまに、庭があった場所に力強く咲いた黄色いスイセンを手渡した。皇后さまは「ちょうだいできますか」と声をおかけになり、大切にお持ち帰りになったという。

スイセンの花言葉は、「復興」や「絆」もふさわしい。



4月にはたわわに実る

ビワ(枇杷)

中国南西部が原産地のバラ科ビワ属の常緑高木。葉の形が楽器の琵琶に似ているためこの名が付いた。ちなみに、琵琶湖も天智天皇の代(飛鳥時代、7世紀後半)に測量した結果、形が楽器の琵琶に似ていると分かり琵琶湖と呼ばれ始め、江戸中期にこの名が定着した(それまでは「淡海」、「近江の海」などと呼ばれていた)。

日本では江戸末期にビワの栽培が始まった。ビワは葉はもちろん樹皮や果実、種子、根にいたるまで様々な病に対して効能が高く、ガンにまで効果がある(民間療法として)。釈迦はビワを「大薬王樹」、葉を「無憂扇」と呼んだという。

果実は生食の他に缶詰、ジャムなどに使われる。材質は堅くて高級な木刀に利用され、つえは「長寿杖」と呼ばれる縁起物であり宮内庁御用達である。

実を結ぶまでに「桃栗三年柿八年」といわれるが、その後には「枇杷は早くて十三年」と続く。

花言葉は「温和」「治癒」「あなたに打ち明ける」。



シロバナリュウキュウコスミレ(白花琉球小菫)

トカラ列島以南に自生するスミレ科スミレ属の多年草。去年の2月号で紹介した赤紫や濃い紫の花を付けるリュウキュウコスミレの亜種で、純白の花を付ける。リュウキュウシロスミレと似るが、リュウキュウシロスミレは白い花に薄紫の縦条(線)が入っており純白ではない。

白いスミレの花言葉は「無邪気な恋」。



根向自 性学主

〈校訓〉

校長：井之上 良一(第21代)、生徒数24人・学級数3・教職員12人



母校訪問 おもしろいでは永遠に 11

第二一中学校

学校概要

第二中学校は昭和23年、生徒数233人で開校した。当初は同校を設置する予定はなかったが「戦後の新時代をつくるには教育こそ重要」と地域住民が陳情に陳情を重ね、設置が決まった。開校時は上嘉鉄小学校を間借りしていたものの、戦後間もない食糧難の時代にもかかわらず多くの有志から畑地の寄進があり、昭

生徒数等の推移

年度	生徒数	学級数
昭和43	143	5
47	158	6
50	118	4
55	85	3
60	60	3
平成元	43	3
5	45	3
10	36	3
15	25	3
20	22	3

町勢要覧・学校沿革史より



「弁当の日」は生徒お手製で日頃の保護者に感謝



応援団の演舞を校区民も楽しみにしている

和24年1月、現地に移転した。他の中学校にはないドラマを経て誕生した同校は、まさしく地域によって生まれ、愛され続けている。
現在では、自己実現に必要な学力向上のため、豊かな人間関係づくりや生活リズム、校内の美化など、学習環境の向上に重点的に取り組んでいる。学習指導においては教師が一方的に教えるのではなく、ICT(校内のパソコンを用いた情報共有技術)も活用しながら生徒に自ら考えさせ、積極的に発表・表現させる授業を実践している。また、全校朝会では生徒全員が、年に二回はスピーチをする機会が設けられている。部活動はもちろん運動会の応援団も全員参加し、上級生が下級生を指導する伝統が受け継がれ、協力・団結する意義を学

んでいる。また、校内にあふれる色とりどりの花は、来訪者の目を楽しませ、生徒が育てた花を競いあうプランターコンテストも行われている。
これらの取り組みは着実に結果に結びつき、基礎・基本定着度調査などの諸検査の数値にもあらわれてきている。さらには、これらの幅広い成果が認められて昨年10月、「県へき地・小規模校教育優秀校」表彰を受けた。
幼稚園・小学校と校区を同じくする同校の保護者や校区住民は、他の校区に増して学校との結びつきが強く、各種学校行事などに積極的に参加している。その理由は、学校誕生の歴史を振り返れば説明を待たない。

校歌

作詞 上原 富雄
作曲 田畑 正隆

- 一 春嘉手浦の丘の上^えに
若草もえて光よぶ
新しき世の朝明けて
同じ理想に我等たつ
見よや二中わが母校
- 二 磯の香におう金久原
四海のはてに波通う
平和の風をこの郷に
永久に育む学び舎ぞ
見よや二中わが母校
- 三 溢るる望み胸はなる
若き生命の自治の旗
かざして行かむ諸共に
三年ちぎれるこの庭ぞ
見よや二中わが母校



よく肥えた貴重な畑地に学び舎は建った(昭和20年代)